

慶蔵院寺報

公孫樹

2024年6月発行

第149号

浄土宗慶蔵院

伊勢市小俣町元町1211

TEL 0596 (22) 3726



慶蔵院の鐘楼

画 山寄淑子

人は皆な、どこかでつながっている…

二十六日、朝の勤行にキサン君の参加があった。夕べ三時ごろに集会所「一会館」に来て、仮眠。本堂に灯りがとるのを待って上がった。お参りの方々と挨拶を交わしている。夜勤のある近くの工場で働いている。早く永住権を取得して、お金も貯めて、日本で家を購入し、ネパールのお母さんに一度だけでも日本に来てもらい、親孝行をしたいと…、十年来の夢に向かって頑張っている。

日本語が上手だと言われると、「どうして日本語が上手なのかわかりますか…」と皆さんに問う。「それは和尚さんが教えてくれたからです。」とまじめな顔をして言う。事実はではない。日本に来る前からキサンは日本語も英語も中国語もヒンドゥー語も喋ることができた。もちろん母国語のネパール語も…。小さいころから家族を守るために観光客を相手に物売りをしてきた。成長してからは観光客の案内をして日銭を稼いだ。縁があって日本に来た時、キサンは二十四歳だった…と改めて思う。

キサンに文字を教え始めたのは十二月ころだった。朝の8時から一時間半。「文字を書いたのは日本語が最初です」と言っていた。二か月くらいたって、いつも付き添ってくれていたパートナーに「今日からは、あなたが教えてください」と日本語指導を引き継いでもらった。公文書の日本語教材を使っていたので、誰でも指導することができた。「勉強をしているときは、パートナーは、キサンの先生です。わがままは許しません…」と命じた。

お参りの方にキサンは、いろいろと聞いてもらっていた。就職の面接を受けた時、こんな話をしたという。「初めて日本に来た時、大きな煙突を見て、この工場で働きたいと思いました。その夢に向かって、一生懸命、日本語を勉強しました…」と。また「私と和尚さんはずっと前に一緒に住んでいて、悲しみの中に二人とも死んだ。でも、私が日本に来て再び、こうして会えることができた。私のお父さんです。」とも語った。

(四ページへ続く)

6月の行事予定



5日(水)	写経会 男性詠唱隊	午前10時～ 午後7時30分～
9日(日)	子ども会 「はるくま」さん	午前10時～
12日(水)	落語会「いちご亭」 南遊亭栄歌・安楽亭東風	午後7時～8時半予定
10日(月)	華道「山村御流」教室 講師 小森清真先生	午後1時半～ 参加費2000円 と 花代
19日(水)	健康教室 歩き方教室 講師 馬場久美子先生	午後1時～3時 参加費500円
26日(水)	地藏講・地藏堂開帳	午後1時半～
8日・22日(土)	絵画サロン 講師 山寄淑子先生	午後7時～8時半 一会館にて 参加費1回500円
24日(月)	垣見一雅 (OKバジ) 講演会 戦没者慰霊平和の鐘	午後1時～ 朝の勤行にて 午前8時頃
13日(木)	ともいき英語サロン 講師 三浦邦昭先生	午前10時～11時半 午後1時半～3時 一会館にて 参加費1回1000円
14日・28日(金)	茶道教室 講師 河井宗恵生 樋口宗恵先生 田島宗紀先生	午後7時～子供茶道教室 7時半～大人茶道教室 大人500円 一会館にて

頼山陽「日本楽府」の一首

日出づる処

日出づる処
日没する処

両頭の天子皆な天署す

扶桑は鷄号いて朝已に盈つるも

長安洛陽は天末だ曙けす

嬴顛れ 劉蹶き 日没を趁ふ

東海の一輪 旧に依りていつ

(日本語訳)

太陽の出るところと太陽の沈むところ

日本と中国両方の天子(天皇)の署名した国書が互いに
取り交わされた。

日本では鶏が鳴いて朝廷に出仕の百官が満ちあふれて
いても、中国の都、長安や洛陽ではまだ夜が明けない。

中国では秦王朝が倒れ、漢王朝がつまりて日没を追
いかけるかのように衰亡したが、我が日本の皇室は昔の
まま東海に太陽のように光り輝いている。

頼山陽は安永九年(一七八〇)儒者の父と医者娘の
母との間に長男として大坂で生まれました。幼い時より
父母に漢籍や歴史書などを教わり、成長してからは江戸
やその他で勉強し、日本外史や多くの漢詩を作っていま
す。

「日出処」は、推古天皇十五年に聖徳太子が遣隋使の小
野妹子に託した国書「日出づる処の天子、書を日没する
処の天子に致す。つつがなきや」に因っていると思いま
す。

今改めて自信と誇りのもてる国を目指しましょう。

(文 麻畑公生)

前号の当欄、麻畑公生さんのお名前が記載漏れとなっていまし
た。失礼しました。

慶成院豆知識

13



奥田悦生川柳句集「ひまわり」を読んで②

小鳥来る庭に喝采缶ビール

冬から春さきに我が家の小さい庭にも小鳥たちが千両や万両の実を食べに来ます。メジロやヒヨドリなど野鳥の姿を見ているのは文句なく何ともときどきです。



これからも何度か読み返して楽しませていただきます。

垣見一雅 (OK バジ) 講演会

6月24日(月) 支援カンパ

午後1時～慶蔵院「一会館」にて
ネパール大地震・コロナ禍を乗り越えて

8年ぶりのバジさんです!!



1939年生まれの垣見さんが、単身ネパールに移り住んだのは1993年のこと。ルンビニ県パルパ郡ドリマラ村に、村人が家を建ててくれた。雪崩で亡くなったポーターを見舞った村だ。その貧しさに驚いた。垣見さんの支援活動が始まった。医療、生活、教育…。村々を歩き、村人の相談にOKと応え、こうして垣見さんはOKバジ(おじいさん)と呼ばれるようになった。

令和6年度の寺世話人の皆様で

- 倉野剛一さん
- 太田茂男さん
- 松家昇さん
- 中山喜子さん
- 飯田信雄さん
- 中山憲一さん
- 下喜仁さん
- 麻畑公生さん
- 森下幸さん
- 倉野幸次さん
- 奥田悦生さん
- 椋本卓史さん
- 奥野秀子さん
- 奥野幸宏さん

- 山西曉彦さん
- 西里中和さん
- 西里和久さん
- 川元正春さん
- 大西稔さん
- 藤原幸夫さん



今年度から野呂俊文さんに代わりまして西里和久さんにお願ひ致します。野呂さんありがとうございました。

☆ご連絡☆
今年度から会計事務を西田会計事務所に依頼しましたので、会計報告は6月にさせていただきますことになりました。

花まつり木魚が光るお念仏

(「知恩」六月号「柳壇」に掲載)

奥田悦生

落語会「いちご亭」

第2水曜十二日 午後7時 慶蔵院「一会館」

無料です

出演 法話 慶蔵院住職

落語 南遊亭栄歌

安楽亭東



麻畑公生の「浄土宗新聞」見どころ・読みどころ



P.7 仏前結婚式の魅力

あまりポピュラーではありませんが、「ご縁」がキーワードだと思います。これを機会に若い人達に一人でも多く信者になってもらえればと思います。それには、式の後の法話が大切だと思います。

私事ですが、息子が最近ホテルのチャペルで結婚式を挙げましたが、とおりの一辺であまり心に残らなかった記憶があります。プロテスタントでしたが、讃美歌312番、430番、聖書コリント前書13章の内容は、あとで見返すと素晴らしかったです。



6月9日(日) 午前10時～

第一部

高橋さんグループ
絵本・紙芝居



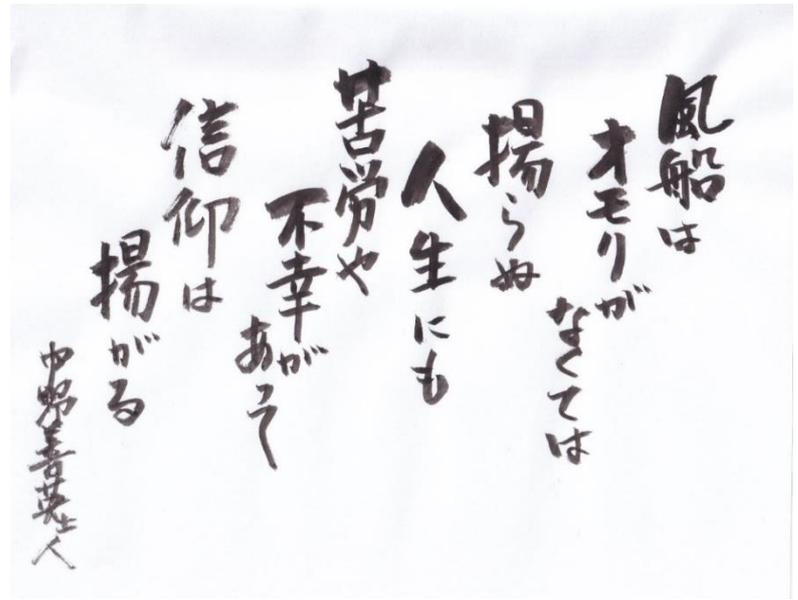
第二部 はるかまさん

久しぶりの登場です! お話しや



住職の健康回復への道のり (28)

いま無呼吸症候群検査の結果待ちをしています。一晩で十八回、最長三分以上呼吸が止まっていた二年半前の状態から、どこまで健康が回復できているか、まだ回復できていない問題は何かをしっかりとつかみたいと思います。今日も施療の日でした。お腹の上腹部の柔らかさを、かな子先生が手で触ってチェックすることから施療が始まります。「固いです。ここが胃、これが腸、肝臓が特に固い。肋骨の下に指が入っていき必要がありますが、全然です。お酒は飲まないのですから、ストレスが原因でしょうか」と。食べ過ぎ



最初のページに書いたキサン君。私が健康を害したことを知ると、「僕が和尚さんを護る」とネパールから大小八個のシンキングボールを持ち帰ってきた。向こうの民間療法の一つである。お母さんが、道具の販売と施療をしていたので、見よう見まねで覚えていたのだろう。月に、一〜二回来てくれて本堂で仕事の合間に施療をしてくれた。しかもこの三年の間にずいぶん腕を上げたな…と感じている。

二十六日、朝の勤行の前日、こんなことがあった。会社の健康診断結果が思わしくなかったキサンは、心配になり気がでなくなった。会社を休み、止めていた酒を飲んだ。行き詰ったキサンは、私に相談しようと電話をかけた。酔っていて、スマホがうまく扱えない…。

ちよつど私は、売り家を探しているキサンの所に、不動産業者を案内しているとところだった。電話しようとしていた私がいきなり目の前に現れたため、キサンの驚いたこと驚いたこと。

「和尚さんに会いたいと思ったら、戸が開いてスーと和尚さんが現れた。電話かけなくても、願ったら会えた…。心が繋がっているからだ」と、朝の勤行に集まった方々に、何度も繰り返し話していた。

身体のこと心配で、あれほど熱心に働いてきた会社を、三日間欠勤してしまったキサン。会社にはフォローの電話を入れておいたものの、日本では病院に行きたくない。ネパールでは薬は使わないと話す。そして施療のため、ネパールに一時帰国することを選択したようだ。「キサンが航空券を取ってくれと言っんです。いいですか…」との問い合わせがあった。「そうしてやれ」と返事した。二十八日キサンは一人でネパールに帰っていった。